

海外現地法人の動向（要旨）

海外現地法人四半期調査（平成 18 年 4-6 月期）

平成 18 年 9 月 27 日
調査統計部企業統計室

<今回調査のポイント>

●平成 18 年 10-12 月期の先行きDI

- ・ 売上高の現状判断はわずかに悪化。先行きもわずかに悪化を見込むも、高水準で、引き続き高い景況感を持続。
- ・ 設備投資額の現状判断は悪化。先行きもすべての地域で悪化を見込むも、プラス水準を維持。
- ・ 従業者数の現状判断はやや改善。先行きは欧州を除く地域で悪化。

●平成 18 年 4-6 月期の実績

- ・ 売上高は、3 期連続して伸び率が低下した後、やや回復。中国が輸送機械の著しい伸び等により伸び率を高め、NIEs3 は、輸送機械は減少するも、電気機械が増加に転じたことなどからマイナス幅を縮小。
- ・ 設備投資額は、2 桁台の増加に転じた。輸送機械の大幅な増加が目立つ。ASEAN4 で大幅に増加し、北米が 5 期ぶりに増加。中国は 2 期連続減少。
- ・ 従業者数は、引き続き増加。中国を中心にアジアで増加。北米はわずかに減少。欧州は増加。

調査時点：平成 18 年 8 月中旬

<参考> 海外経済

世界の景気は着実に回復している。アメリカでは、個人消費等の伸びは緩やかになっているものの、景気は拡大している。中国では、景気は拡大が続いている。固定資産投資は、高い伸びが続いている。台湾、シンガポールでは、外需を中心に景気は拡大している。マレーシアでは、内需を中心に景気は拡大している。タイでは、景気の拡大は緩やかになっている。韓国では、景気は緩やかに拡大している。ユーロ圏及び英国では、景気は回復している。（月例経済報告（平成 18 年 9 月）より）

1. 売上高

先行きDI*1は20.9%ポイントで、わずかに悪化を見込む。実績は、前年同期比6.6%増と伸び率はやや回復。

○現状判断D I（18年7-9月）はわずかに悪化したが、欧州を除くすべての地域でプラス水準。先行きD I（18年10-12月）もわずかに悪化を見込むも、すべての地域で2桁台のプラス水準にあり、引き続き高い景況感を持続。ASEAN4*2及び中国*3が悪化。北米、NIEs3*4及び欧州で改善し、特に欧州の大幅な改善が目立つ。

○実績（18年4-6月）は、3期連続して伸びが低下した後、やや回復。主要業種すべて増加し、化学を除き伸び率が上昇した。地域別では、NIEs3を除く全地域で増加。中国が伸び率を高め、NIEs3はマイナス幅を縮小した。

アジア地域では、NIEs3は輸送機械の減少等により2期連続減少したが、電気機械が増加に転じ、マイナス幅を縮小。中国は電気機械が伸び悩むも、輸送機械の著しい伸び等により大幅増。伸び悩んでいた輸送機械部品的大幅な増加が目立つ。ASEAN4は電気機械が減少し、輸送機械も伸び悩み2期連続1桁台の増加。北米は輸送機械の伸び悩みにより1桁台の増加。欧州は電気機械の大幅増等により2期連続の増加。

注 *1：調査時点を含む四半期（現状判断）及びその翌四半期（先行き）に関し、前期と比較した見通し
・DI＝「増加と回答した企業の割合」－「減少と回答した企業の割合」
・現状判断DIの前期比＝「今回調査現状判断DI（7-9月期）」－「前回調査現状判断DI（4-6月期）」
・先行きDIの前期比＝「今回調査先行きDI（10-12月期）」－「今回調査現状判断DI（7-9月期）」
*2～4

ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア 中国：香港を含む NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国

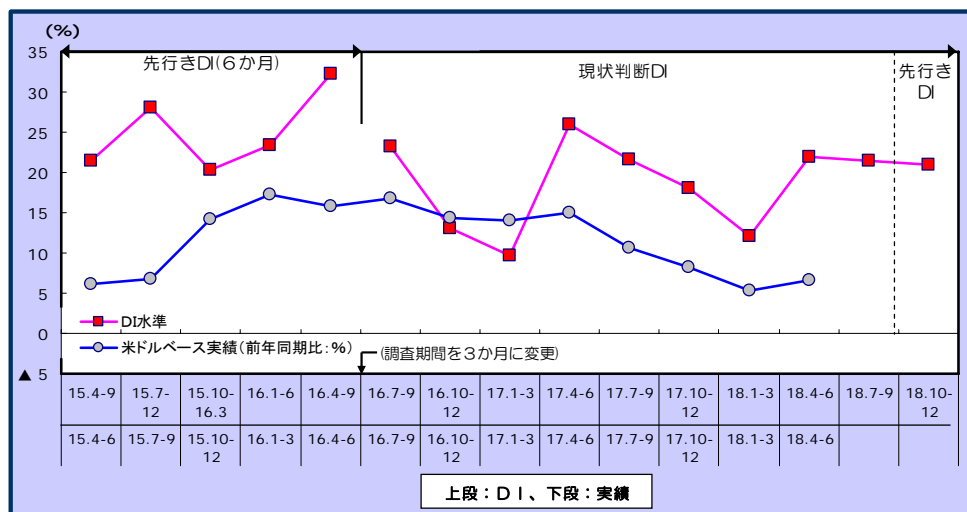
1表 売上高のD I 及び実績（地域・主要業種別）

(単位：DI及びDI前期比→ポイント、実績(前年同期比)→%)

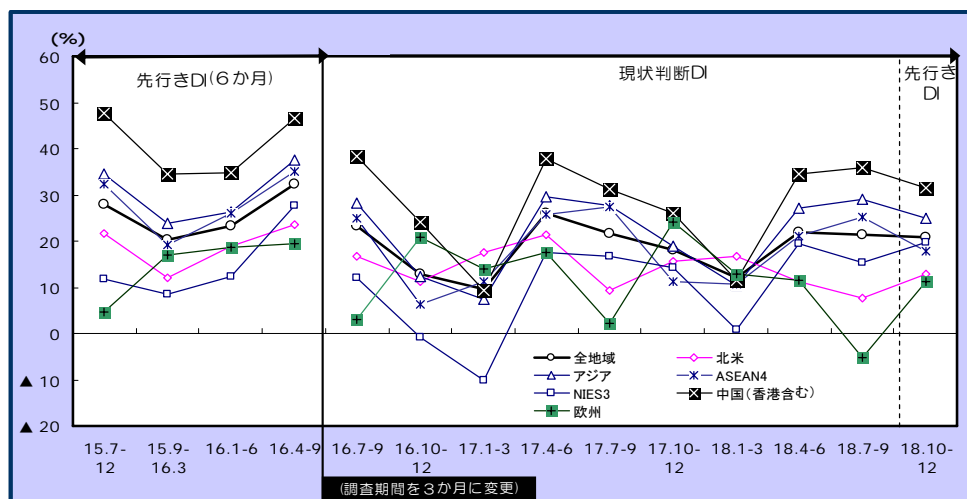
	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査			前期比				
	①現状判断 (18.4-6)	②現状判断 (18.7-9)	③先行き (18.10-12)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)			
計(地域・業種)	21.9	→	21.4	→	20.9	(▲ 0.5)	▲ 0.5	6.6
北米	11.2	→	7.6	→	12.9	(▲ 3.6)	5.3	4.6
アジア	27.1	→	29.0	→	24.9	((1.9)	▲ 4.1	7.9
ASEAN4	21.1	→	25.3	→	17.8	((4.2)	▲ 7.5	2.3
NIEs3	19.4	→	15.4	→	19.8	(▲ 4.0)	4.4	▲ 0.7
中国(香港含む)	34.6	→	35.9	→	31.6	((1.3)	▲ 4.3	19.5
欧州	11.4	→	▲ 5.3	→	11.1	(▲ 16.7)	16.4	5.9

	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査			前期比				
	①現状判断 (18.4-6)	②現状判断 (18.7-9)	③先行き (18.10-12)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)			
輸送機械	14.9	→	15.3	→	19.3	((0.4)	4.0	7.6
電気機械	15.5	→	19.1	→	15.8	((3.6)	▲ 3.3	4.7
一般機械	27.9	→	18.1	→	23.2	(▲ 9.8)	5.1	13.4
化学	29.0	→	25.1	→	23.5	(▲ 3.9)	▲ 1.6	2.5
鉄鋼	24.6	→	14.1	→	17.7	(▲ 10.5)	3.6	2.8

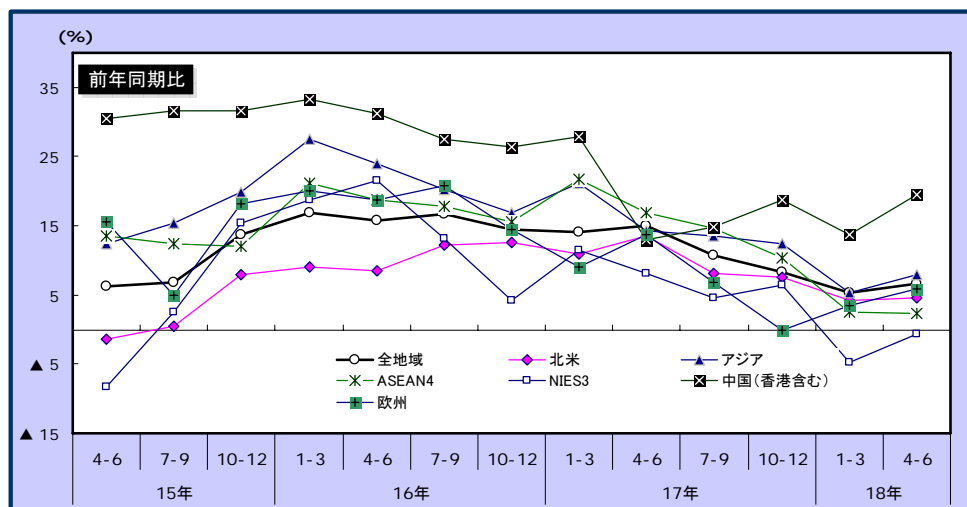
1 図 売上高の DI と実績（ドルベース）の推移



2 図 売上高DIの推移（地域別）



3 図 売上高実績（ドルベース）の推移（地域別）



2. 設備投資額(土地を除く有形固定資産取得額)

先行きDIは 10.4%ポイントで、先行き悪化を見込む。実績は、前年同期比 18.3%増と増加に転じた。

○現状判断D I (18 年 7-9 月) は NIEs3 及び欧州を除くすべての地域で悪化を見込むも、すべての地域で2桁台のプラス水準。先行きD I (18 年 10-12 月) は、すべての地域での悪化を見込むも、すべての地域でプラスの水準。

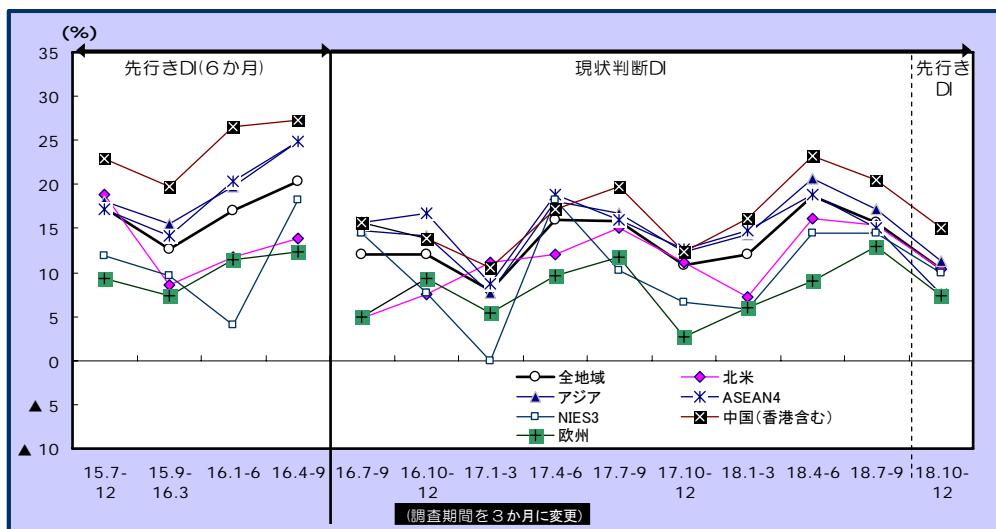
○実績(18 年 4-6 月) は、2桁台の増加に転じた。輸送機械は伸び率を大幅に上昇し、4期連続の増加。ASEAN4 及び中国が著しい伸びを示し、北米が増加に転じたことによる。電気機械は5期ぶりに増加に転じ、化学も増加に転じた。アジア地域では、ASEAN4 は輸送機械及び電気機械の増加により大幅増。タイの自動車メーカーの大幅増が目立つ。NIEs3 は輸送機械の減少などから5期ぶりにやや減少。中国は、輸送機械が9期連続して増加しさらに伸びを高めるも、電気機械が4期連続減少し、2期連続の減少。北米は、電気機械の減少幅が縮小し、輸送機械が増加に転じ、5期ぶりに増加。欧州は輸送機械の減少等により2期連続の減少。

2表 設備投資額のD I 及び実績(地域・主要業種別)

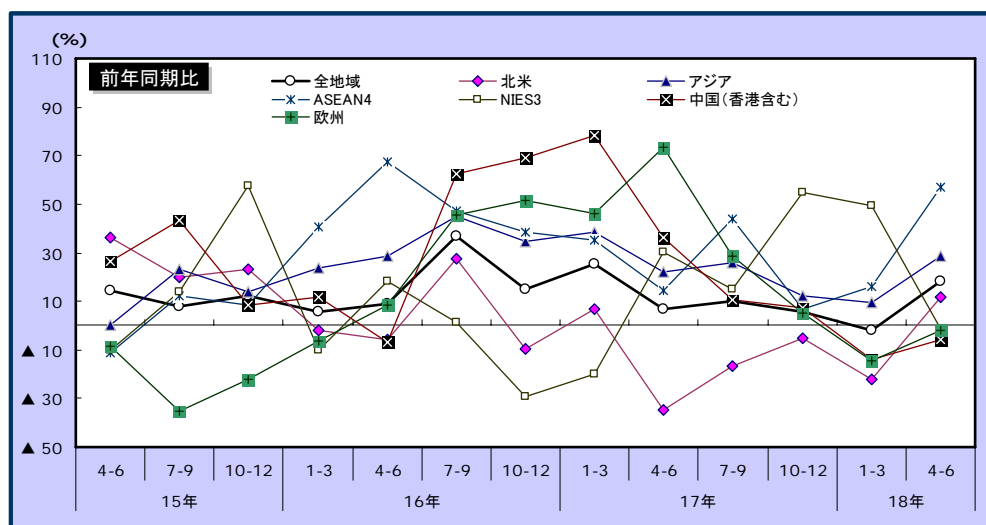
(単位：DI及びDI前期比→ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績 (前年同期比)		DI					実績 (前年同期比)				
	前期調査		今 期 調 査		前期比			前期調査		今 期 調 査		前期比					
	①現状判断 (18.4-6)	②現状判断 (18.7-9)	③先行き (18.10-12)	現状判断 (②-①)				先行き (③-②)	①現状判断 (18.4-6)	②現状判断 (18.7-9)	③先行き (18.10-12)			現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
計（地域・業種）	18.7	→	15.6	→	10.4	(▲ 3.1)	▲ 5.2	18.3	輸送機械	22.3	→	16.3	→	10.4	(▲ 6.0)	▲ 5.9	33.5
北米	16.1	→	15.3	→	10.4	(▲ 0.8)	▲ 4.9	11.5	電気機械	16.1	→	15.7	→	5.5	(▲ 0.4)	▲ 10.2	9.5
アジア	20.7	→	17.2	→	11.3	(▲ 3.5)	▲ 5.9	28.8	一般機械	14.3	→	15.4	→	8.2	(▲ 1.1)	▲ 7.2	▲ 23.0
ASEAN4	18.9	→	15.1	→	7.5	(▲ 3.8)	▲ 7.6	57.2	化学	14.0	→	17.3	→	13.4	(▲ 3.3)	▲ 3.9	8.5
NIEs3	14.5	→	14.5	→	10.0	(▲ 0.0)	▲ 4.5	▲ 1.6	鉄鋼	18.8	→	16.4	→	16.9	(▲ 2.4)	0.5	5.4
中国（香港含む）	23.2	→	20.5	→	15.1	(▲ 2.7)	▲ 5.4	▲ 5.6									
欧州	9.0	→	12.9	→	7.4	(▲ 3.9)	▲ 5.5	▲ 2.0									

4図 設備投資DIの推移(地域別)



5 図 設備投資額実績（ドルベース）の推移（地域別）



3. 雇用(従業者数)

先行きDIは 6.2%ポイントで、前期比▲3.9%ポイントの悪化。実績は、前年同期比 7.0%増と引き続き増加。

○現状判断D I は、欧州を除くすべての地域で改善。中国は引き続き 2 桁台の水準。
先行きD I は、主要業種及び欧州を除くすべての地域で悪化を見込むも、欧州を除く全ての地域でプラス水準。欧州はマイナス水準もやや改善の見込み。

○実績は、引き続き増加。化学を除く主要業種及び北米を除く全地域で増加した。
アジア地域では、中国が引き続き増加し、輸送機械の大幅増などから伸びが上昇。
北米は引き続き減少。欧州は 2 期ぶりに増加。

3 表 従業者数のD I 及び実績（地域・主要業種別）

(単位: DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績 (前年同期比)		DI					実績 (前年同期比)				
	前期調査			前期比				前期調査			前期比						
	①現状判断 (18.4-6)	②現状判断 (18.7-9)	③先行き (18.10-12)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)			①現状判断 (18.4-6)	②現状判断 (18.7-9)	③先行き (18.10-12)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)					
計 (地域・業種)	8.2	→	10.1	→	6.2	(1.9)	▲ 3.9	7.0		8.9	→	12.3	→	10.6	(3.4)	▲ 1.7	14.3
北米	7.9	→	8.3	→	2.5	(0.4)	▲ 5.8	▲ 0.1		7.6	→	8.1	→	2.5	(0.5)	▲ 5.6	5.8
アジア	10.3	→	13.4	→	9.1	(3.1)	▲ 4.3	9.0		13.8	→	12.1	→	8.1	(▲ 1.7)	▲ 4.0	12.4
ASEAN4	7.6	→	9.9	→	4.1	(2.3)	▲ 5.8	3.1		8.0	→	11.8	→	7.4	(3.8)	▲ 4.4	▲ 0.8
NIEs3	4.7	→	5.9	→	2.4	(1.2)	▲ 3.5	0.6		5.3	→	0.0	→	▲ 1.5	(▲ 5.3)	▲ 1.5	4.6
中国 (香港含む)	14.4	→	19.0	→	15.5	(4.6)	▲ 3.5	15.0									
欧州	▲ 2.2	→	▲ 3.9	→	▲ 2.9	(▲ 1.7)	1.0	2.4									